

2011年度

科目名	福祉行財政と福祉計画			
担当教員	村江 昇			
配当	教福3		コード	32176
開期	後期	講時	水曜日2限	単位数 2
授業テーマ	社会福祉の実践を支える制度的な枠組みである福祉行財政と福祉計画について学習する。			
目的と概要	社会福祉は、これまで宗教家、篤志家、慈善家、教育者らによって社会事業として行われてきたが、憲法25条の生存権規定により、「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とされた。これ以降、社会福祉三法、六法時代を経、平成12年社会福祉基礎構造改革により新たな時代に入っている。 社会福祉の実践を支える法律や制度の仕組み、また、国や地方との関係、財源などを学習するとともに各分野の福祉計画についても理解を深める。			
成績評価法	学期末の定期試験(70%)、講義時の提出物、受講態度(30%)で評価する。			
テキスト	新・社会福祉士養成講座10 福祉行財政と福祉計画 社会福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版株式会社			
参考書	適宜紹介する			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	社会の動向を注視すること。新聞などニュースに関心をもつこと。 範囲について予習して臨むこと			
講義計画				
1) オリエンテーション・この授業を学ぶ意義 2) 社会福祉の動向 3) 国や都道府県等の社会福祉分野での役割（地方分権の推進） 4) 国や地方の財源（福祉財政） 5) 福祉行政の組織や団体 6) 福祉行政における専門機関 7) 福祉行政における専門職の役割 8) 社会福祉基礎構造改革 9) 福祉計画の意義と目的 10) 福祉計画の策定過程（住民参加など） 11) 福祉計画の策定過程（ニーズ把握など） 12) 福祉計画の分野別計画 13) 福祉計画と数値目標 14) 福祉計画の実際 15) まとめ				